



Cisco Unity Connection 7.x システム要件

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。
米国サイト掲載ドキュメントとの差異が生じる場合があるため、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。
また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

Revised August 28, 2008

このマニュアルでは、Cisco Unity Connection バージョン 7.x システムの要件を示しています。このマニュアルには、次の項があります。

- [ハードウェア要件 \(P.3\)](#)
- [ソフトウェア要件 \(P.4\)](#)
- [電話システムとの連動の要件 \(P.6\)](#)
- [音声認識機能の使用の要件 \(P.6\)](#)
- [Cisco PCA による Connection Web ツールへのアクセスの要件 \(P.7\)](#)
- [Cisco Unity Connection ViewMail for Microsoft Outlook を使用してのボイス メッセージへのアクセスの要件 \(P.7\)](#)
- [IMAP E メール クライアントを使用しての Connection ボイス メッセージへのアクセスの要件 \(P.8\)](#)
- [Cisco Unified Personal Communicator を使用しての Connection ボイス メッセージへのアクセスの要件 \(P.8\)](#)
- [Cisco Unified Mobile Communicator を使用しての Connection ボイス メッセージへのアクセスの要件 \(P.9\)](#)
- [Cisco Unified Messaging with IBM Lotus Sametime を使用しての Connection ボイス メッセージへのアクセスの要件 \(P.9\)](#)
- [RSS リーダを使用しての Connection ボイス メッセージへのアクセスの要件 \(P.10\)](#)
- [外部メッセージストアにある E メール メッセージへのアクセスの要件 \(P.10\)](#)
- [会議のための予定表情報へのアクセスの要件 \(P.10\)](#)
- [Exchange 連絡先情報へのアクセスの要件 \(P.11\)](#)



Americas Headquarters:
Cisco Systems, Inc., 170 West Tasman Drive, San Jose, CA 95134-1706 USA

Copyright © 2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

OL-17881-01-J

- [Cisco Unity Connection Phone View の要件 \(P.11 \)](#)
- [Cisco Fax Server との連動の要件 \(P.11 \)](#)
- [LDAP ディレクトリとの連動の要件 \(P.11 \)](#)
- [Cisco Unity Connection クラスタの要件 \(P.12 \)](#)
- [デジタル ネットワーキングの要件 \(P.13 \)](#)
- [VPIM ネットワーキングの要件 \(P.13 \)](#)
- [Cisco Unity Connection 1.x からバージョン 7.x への移行の要件 \(P.14 \)](#)
- [Cisco Unity 4.x 以降から Cisco Unity Connection バージョン 7.x への移行の要件 \(P.15 \)](#)
- [Cisco Unity Connection コンポーネントで使用できる言語 \(P.16 \)](#)
- [Cisco Unity Connection でサポートされる言語の英字コードと数字コード \(P.18 \)](#)

ハードウェア要件

Cisco Unity Connection の仕様を満たす 1 台のサーバ。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_data_sheets_list.html にある『Cisco Unity Connection Supported Platforms List』を参照してください。



注意

サポートされていないプラットフォームにバージョン 7.x をインストールしようとする、インストール プログラムの [Product Deployment Selection] ウィンドウにオプションとして Cisco Unity Connection が表示されません。メモリやプロセッサ速度などのプラットフォーム仕様を確認するには、『Cisco Unity Connection Supported Platforms List』の「Cisco Unity Connection Supported Servers」にあるサーバごとの表を参照してください。

既存の Connection サーバまたは Cisco Unity サーバを Connection 7.x にアップグレードする場合、インストールが成功して Connection が正常に動作するには、メモリを追加しなければならない場合があります。MCS-7815 サーバと MCS-7825 サーバは、すべて 2 GB 以上のメモリが必要です。MCS-7835 サーバと MCS-7845 サーバは、すべて 4 GB 以上のメモリが必要です。構成によっては、MCS-7815 サーバと MCS-7825 サーバに 4 GB 以上のメモリが必要な場合があります。詳細については、P.13 の「デジタル ネットワーキングの要件」を参照してください。

Connection クラスタを設定する場合、MCS-7835 サーバでは、サーバのハードディスクを交換しなければならないことがあります。『Cisco Unity Connection Supported Platforms List』の「Cisco Unity Connection Supported Servers」にあるサーバごとの表を参照してください。

サポートされるハードウェア (オプション)

Cisco Unity Connection 7.x では、次のオプションのハードウェアがサポートされています。

- HP StorageWorks DAT 72 USB テープ ドライブ (バックアップ用)
- HP StorageWorks Ultrium 448 テープ ドライブ (バックアップ用)

ソフトウェア要件

この項では、次のことを説明しています。

- [ソフトウェア要件：Cisco Unity Connection Server \(P.4\)](#)
- [ソフトウェア要件：管理者ワークステーション \(P.4\)](#)
- [ソフトウェア要件：ユーザワークステーション \(P.5\)](#)

ソフトウェア要件：Cisco Unity Connection Server

Cisco Unity Connection ソフトウェアおよび必要なすべてのサードパーティ ソフトウェアは、Cisco Unity Connection の設定によりインストールされます。

ソフトウェア要件：管理者ワークステーション

Cisco Unity Connection サーバ上の Web アプリケーションにアクセスするには、オペレーティングシステムおよびインターネット ブラウザと、インストールする Connection のバージョンの間に互換性が必要です。表 1 は、サポートされているオペレーティングシステムとブラウザの組み合わせを示しています。

表 1 Cisco Unity Connection 7.x 管理者ワークステーションでサポートされているオペレーティングシステムおよびブラウザ

管理者ワークステーションのオペレーティング システム	管理者ワークステーションのブラウザ
Microsoft Windows Vista	Microsoft Internet Explorer 7.0
<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Windows Server 2003 • Microsoft Windows XP 	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Internet Explorer 7.0 および 6.0 (SP1) • Mozilla Firefox 3.0 および 2.0
Mac OS X 10.4 以降	Mozilla Firefox 3.0 および 2.0
Red Hat Enterprise Linux	Mozilla Firefox 3.0 および 2.0

表 2 は、適切なブラウザ コンフィギュレーションで必要なソフトウェアを示しています。

表 2 Cisco Unity Connection 7.x 管理者ワークステーションでの適切なブラウザ コンフィギュレーションで必要なソフトウェア

ブラウザ	必要なソフトウェア
Firefox	次のソフトウェア。オペレーティングシステムによって異なります。 <ul style="list-style-type: none"> • Mac OS X の場合： <ul style="list-style-type: none"> - Java 2 Platform Standard Edition(J2SE)Runtime Environment 5.0 Release 3 以降 - Java Embedding Plugin for Mac OS X バージョン 0.9.5 以降¹ • Linux の場合： <ul style="list-style-type: none"> - ALSA ドライバ バージョン 1.0.9 以降 - Java 2 Platform Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Update 6 (1.5.0_06) 以降 • Windows の場合、Java 2 Platform Standard Edition(J2SE)Runtime Environment 5.0 Update 6 (1.5.0_06) 以降
Internet Explorer	Java 2 Platform Standard Edition(J2SE) Runtime Environment 5.0 Update 6 (1.5.0_06) 以降

1. Java Embedding Plugin for Mac OS X は、Firefox バージョン 1.5.0.1 以降に組み込まれています。

ソフトウェア要件：ユーザワークステーション

下に記載のソフトウェアの、どのバージョンの組み合わせがサポートされているかについては、http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/compatibility/matrix/cucclientmtx.html にある『互換性マトリクス：Cisco Unity Connection とユーザワークステーション上のソフトウェア』を参照してください。

- ユーザが Cisco Personal Communications Assistant により Connection Web ツールにアクセスできるようにするには、ユーザワークステーションのオペレーティングシステムおよびインターネットブラウザと、インストールする Connection のバージョンとの間に互換性が必要です。
- Cisco Unity Connection ViewMail for Microsoft Outlook を使用している場合、ViewMail のバージョンと、インストールする Connection のバージョンの間に互換性が必要です。
- IMAP E メールアプリケーションを使用して Connection ボイスメッセージにアクセスする場合、E メールアプリケーションには、インストールする Connection のバージョンとの互換性が必要です。

表 3 は、適切なブラウザ コンフィギュレーションで必要なソフトウェアを示しています。これは、ユーザワークステーションにインストールされているブラウザによって異なります。

表 3 Cisco Unity Connection 7.x ユーザワークステーションでの適切なブラウザ コンフィギュレーションで必要なソフトウェア

ブラウザ	必要なソフトウェア
Firefox	次のソフトウェア。オペレーティングシステムによって異なります。 <ul style="list-style-type: none"> • Mac OS X の場合： <ul style="list-style-type: none"> - Java 2 Platform Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Release 3 以降 - Java Embedding Plugin for Mac OS X バージョン 0.9.5 以降¹ • Linux の場合： <ul style="list-style-type: none"> - ALSA ドライババージョン 1.0.9 以降 - Java 2 Platform Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Update 6 (1.5.0_06) 以降 • Windows の場合、Java 2 Platform Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Update 6 (1.5.0_06) 以降
Internet Explorer	Java 2 Platform Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Update 6 (1.5.0_06) 以降
Safari	Java 2 Platform Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Release 3 以降

1. Java Embedding Plugin for Mac OS X は、Firefox バージョン 1.5.0.1 以降に組み込まれています。

電話システムとの連動の要件

Cisco Unity Connection は、Cisco Unified Communications Manager および Cisco Unified Communications Manager Express と連動できます。

また、Cisco Unified CM の Connection との連動では、Survivable Remote Site Telephony (SRST) モードの Cisco Unified CM Express または Cisco IOS プラットフォームにインストールされた SRST によって、リモート サイトでの使用がサポートされます。

Cisco Unified CM および Cisco Unified CM Express のサポート対象バージョンについては、連動タイプに応じた適切なマニュアルを参照してください。

- *SCCP 互換性マトリクス* : Cisco Unity Connection/Cisco Unified CM/Cisco Unified CM Express (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/compatibility/matrix/cucsccpmtx.html)
- *SIP トランク互換性マトリクス* : Cisco Unity Connection/Cisco Unified CM/Cisco Unified CM Express (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/compatibility/matrix/cucsiptrunkmtx.html)

さらに Connection は、サポート対象の他の電話システムと連動したり、複数の電話システムと同時に連動したりできます。サポートされている他の電話システムについては、

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html で Cisco Unity Connection の該当するインテグレーション ガイドを参照してください。

音声認識機能の使用の要件

- ユーザは、アドバンス ボイスメール ユーザ ライセンスを持っている必要があります。
- ユーザは、音声認識の使用が有効なサービス クラスに割り当てられる必要があります。
- 電話システムは、G729a 以外のサポート対象オーディオコーデックのいずれかによって Connection にコールを送信するように設定する必要があります。G.729a オーディオコーデックを音声認識機能で使用することはサポートされていません。

Cisco PCA による Connection Web ツールへのアクセスの要件

Cisco Unity Assistant Web ツール

- ユーザは、Cisco Unity Assistant の使用が有効なサービス クラスに割り当てられる必要があります。
- ユーザ ワークステーションでのサポート対象のオペレーティング システムとインターネット ブラウザ。
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/compatibility/matrix/cucclientmtx.html の『互換性マトリクス: Cisco Unity Connection とユーザワークステーション上のソフトウェア』を参照してください。

Cisco Unity Inbox Web ツール

- ユーザは、Inbox ユーザライセンスを持っている必要があります。
- ユーザは、Cisco Unity Inbox の使用が有効なサービス クラスに割り当てられる必要があります。
- ユーザ ワークステーションでのサポート対象のオペレーティング システムとインターネット ブラウザ。
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/compatibility/matrix/cucclientmtx.html の『互換性マトリクス: Cisco Unity Connection とユーザワークステーション上のソフトウェア』を参照してください。

Cisco Unity パーソナル着信転送ルール Web ツール

- Cisco Unity Connection は、サポートされているバージョンの Cisco Unified Communications Manager 電話システムと連動する必要があります。Cisco Unified Communications Manager Express はサポートされていません。
- ユーザは、パーソナル着信転送ルール Web ツールの使用が有効なサービス クラスに割り当てられる必要があります。
- ユーザ ワークステーションでのサポート対象のオペレーティング システムとインターネット ブラウザ。
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/compatibility/matrix/cucclientmtx.html の『互換性マトリクス: Cisco Unity Connection とユーザワークステーション上のソフトウェア』を参照してください。

Cisco Unity Connection ViewMail for Microsoft Outlook を使用してのボイス メッセージへのアクセスの要件

- ユーザは、IMAP ユーザライセンスを持っている必要があります。
- ユーザは、IMAP クライアントを使用したボイス メッセージへのアクセスが有効なサービス クラスに割り当てられる必要があります。
- ユーザは、Connection ボイス メッセージにアクセスするように設定された E メール アカウントを Outlook で持っている必要があります。
- ViewMail のバージョンで、ユーザ ワークステーション上の Outlook のバージョンとオペレーティング システムがサポートされている必要があります。
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/compatibility/matrix/cucclientmtx.html の『互換性マトリクス: Cisco Unity Connection とユーザワークステーション上のソフトウェア』を参照してください。

IMAP E メールクライアントを使用しての Connection ボイス メッセージへのアクセスの要件

- ユーザは、IMAP ユーザライセンスを持っている必要があります。
- ユーザは、IMAP クライアントを使用したボイス メッセージへのアクセスが有効なサービス クラスに割り当てられる必要があります。
- ユーザワークステーションでサポートされている IMAP E メールクライアント。
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/compatibility/matrix/cucclientmtx.html の『互換性マトリクス: Cisco Unity Connection とユーザワークステーション上のソフトウェア』を参照してください。
- ユーザワークステーション上のサウンドカード、スピーカ、およびメディア プレーヤー。

Cisco Unified Personal Communicator を使用しての Connection ボイス メッセージへのアクセスの要件

- ユーザは、Unified Personal Communicator を使用したボイス メッセージへのアクセスが有効なサービス クラスに割り当てられる必要があります。
- ユーザワークステーション上のサポートされているバージョンの Cisco Unified Personal Communicator。
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/compatibility/matrix/cucclientmtx.html の『互換性マトリクス: Cisco Unity Connection とユーザワークステーション上のソフトウェア』を参照してください。

Cisco Unified Personal Communicator バージョン 7.0 は、Cisco Unity Connection 7.x との安全なメッセージングをサポートしています。



(注)

Cisco Unified Personal Communicator は、IMAP Idle をサポートしていません。したがって、Connection ボイス メッセージにアクセス中の Cisco Unified Personal Communicator のアクティブなインスタンス 1 つは、4 つの同時接続と見なされます。特定の Connection サーバでサポートされている最大接続数については、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_data_sheets_list.html の『Cisco Unity Connection Supported Platforms List』を参照してください。

Cisco Unified Mobile Communicator を使用しての Connection ボイス メッセージへのアクセスの要件

- ユーザは、IMAP ユーザライセンスを持っている必要があります。
- ユーザは、IMAP クライアントを使用したボイス メッセージへのアクセスが有効なサービス クラスに割り当てられる必要があります。

Cisco Unified Mobile Communicator がサポートする携帯電話の一覧については、http://cisco.com/en/US/products/ps7270/prod_release_notes_list.html で該当するリリース ノートを参照してください。



(注)

Cisco Unified Mobile Communicator は、IMAP Idle をサポートしていません。したがって、Connection ボイス メッセージにアクセス中の Cisco Unified Mobile Communicator のアクティブなインスタンス 1 つは、4 つの同時接続と見なされます。特定の Connection サーバでサポートされている最大接続数については、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_data_sheets_list.html の『Cisco Unity Connection Supported Platforms List』を参照してください。

Cisco Unified Messaging with IBM Lotus Sametime を使用しての Connection ボイス メッセージへのアクセスの要件

- ユーザは、IMAP ユーザライセンスを持っている必要があります。
- ユーザは、IMAP クライアントを使用したボイス メッセージへのアクセスが有効なサービス クラスに割り当てられる必要があります。
- ユーザワークステーションは、次の最小要件を満たす必要があります。
 - サポートされているオペレーティングシステム
(http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html で該当する『Release Notes for Cisco Unified Messaging with IBM Lotus Sametime』の「Compatibility Information」を参照してください)。
 - 512 MB の RAM。
 - 20 MB のディスク空き領域。
 - 次のクライアント アプリケーションのいずれか: IBM Lotus Sametime バージョン 7.5.1 CF1 以降、IBM Lotus Notes バージョン 8.0.1 以降 (組み込みの Sametime 機能を含む)。
 - サウンドカード、スピーカ、およびメディア プレーヤー。

Cisco Unified Messaging with Lotus Sametime では、Cisco Unity Connection 7.x との安全なメッセージングがサポートされません。

インストールとアップグレードについては、

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html で該当する『Release Notes for Cisco Unified Messaging with IBM Lotus Sametime』を参照してください。



(注)

Cisco Unified Messaging with Lotus Sametime は、IMAP Idle をサポートしていません。したがって、Connection ボイス メッセージにアクセス中の Cisco Unified Messaging with Lotus Sametime のアクティブなインスタンス 1 つは、4 つの同時接続と見なされます。特定の Connection サーバでサポートされている最大接続数については、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_data_sheets_list.html の『Cisco Unity Connection Supported Platforms List』を参照してください。

RSS リーダを使用するの Connection ボイス メッセージへのアクセスの要件

Revised August 28, 2008

- ユーザは、Inbox ユーザ ライセンスを持っている必要があります。
- ユーザは、Cisco Unity Inbox の使用が有効なサービス クラスに割り当てられる必要があります。
- ユーザワークステーション上のサウンドカード、スピーカ、およびメディア プレーヤー。

外部メッセージストアにある E メール メッセージへのアクセスの要件

- ユーザは、アドバンス ボイスメール ユーザ ライセンスを持っている必要があります。
- サポートされているバージョンの Microsoft Exchange Server と連動する Cisco Unity Connection。
 - Exchange Server 2007 (すべてのエディションがサポート対象)
 - Service Pack 1 以降を適用した Exchange Server 2003 (すべてのエディションがサポート対象)
- サポートされている Windows ドメイン コンフィギュレーション内の Exchange サーバ。表 4 に、サポートされているコンフィギュレーションを示します。

表 4 サポートされている Exchange および Windows ドメイン コンフィギュレーション

Exchange コンフィギュレーション	サポートされている Windows ドメイン コンフィギュレーション
Exchange Server 2007 を実行する 1 台のサーバ	<ul style="list-style-type: none"> • Exchange サーバは、Windows Server 2003 ドメイン コントローラ / グローバル カタログ サーバです。 • Exchange サーバは、Windows Server 2003 メンバサーバです。
Exchange Server 2003 を実行する 1 台のサーバ	<ul style="list-style-type: none"> • Exchange サーバは、Windows Server 2003 ドメイン コントローラ / グローバル カタログ サーバです。 • Exchange サーバは、Windows Server 2003 メンバサーバです。

- Cisco Unity Connection サーバと Exchange サーバは、同一のローカル エリア ネットワークに配置する必要があります。

会議のための予定表情報へのアクセスの要件

予定表の情報に関して、Cisco Unity Connection は次のアプリケーションとの連動がサポートされています。

- Cisco Unified MeetingPlace 7.0
- Cisco Unified MeetingPlace Express 2.0
- Microsoft Exchange Server 2007 (すべてのエディションがサポート対象)
- Service Pack 1 以降を適用した Microsoft Exchange Server 2003 (すべてのエディションがサポート対象)

Exchange 連絡先情報へのアクセスの要件

Exchange 連絡先を Cisco Unity Connection にインポートできるので、ユーザは、ボイス コマンドを使ってコールを発信したり、連絡先情報に基づいたパーソナル着信転送ルールを作成したりできます。

サポートされているバージョンの Microsoft Exchange Server と連動する Cisco Unity Connection が必要です。

- Exchange Server 2007 (すべてのエディションがサポート対象)
- Service Pack 1 以降を適用した Exchange Server 2003 (すべてのエディションがサポート対象)

Cisco Unity Connection Phone View の要件

- サポートされているバージョンの Cisco Unified Communications Manager と連動する Cisco Unity Connection。サポートされているバージョンについては、連動タイプに応じた適切なマニュアルを参照してください。
 - *SCCP 互換性マトリクス* : Cisco Unity Connection/Cisco Unified CM/Cisco Unified CM Express (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/compatibility/matrix/cucsccpmtx.html)
 - *SIP トランク互換性マトリクス* : Cisco Unity Connection/Cisco Unified CM/Cisco Unified CM Express (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/compatibility/matrix/cucsiptrunkmtx.html)
- サポートされている Cisco Unified Communications Manager のバージョンのファームウェアがインストールされた、サポート対象の Cisco Unified IP Phone モデル。サポートされている IP Phone モデルは、7941G、7941G-GE、7961G、7961G-GE、7970G、および 7971G-GE です。

Phone View は、Cisco Unified IP Phone と通信する場合、その電話のロケールに応じてローカライズされたデータを送信します。サポートされていないロケールに IP Phone が設定されている場合は、データはアメリカ英語で表示されます。

Cisco Fax Server との連動の要件

Cisco Fax Server バージョン 9.0 以降が必要です。

LDAP ディレクトリとの連動の要件

サポートされている LDAP ディレクトリと連動する Cisco Unity Connection。

- Active Directory 2003
- Active Directory 2000

複数のユーザ検索ベースを Connection と連動できますが、すべてのユーザ検索ベースが同一の Active Directory フォレスト内になければなりません。

Cisco Unity Connection クラスタの要件

- 両方のサーバは、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_data_sheets_list.html の『Cisco Unity Connection Supported Platforms List』の仕様を満たす必要があります。また、同一のプラットフォーム オーバーレイに属している必要があります。
- 両方の Connection サーバは、同一の場所に設置する必要があります。
- 両方の Connection サーバは、同一のローカル エリア ネットワークに配置する必要があります。
- 両方の Connection サーバには、100 Mbps 以上のネットワーク接続が必要です。
- 最大往復遅延は、10 ms 以下でなければなりません。ベスト プラクティスは、固定ネットワーク遅延が 5 ms 以下です。
- ネットワークでは、Connection サーバへの接続のために次のロード バランシング技術が使用されます。
 - Connection サーバには、Connection パブリッシャ サーバと共通の DNS 名が最初に割り当てられます。
 - ユーザ クライアント セッションと管理者セッションはすべて、Connection パブリッシャ サーバに接続します。Connection パブリッシャ サーバが機能しなくなった場合、ユーザ クライアント セッションと管理者セッションは、Connection サブスクライバ サーバに接続する必要があります。
 - 電話システムは、着信コールを Connection サブスクライバ サーバへ転送するよう試みる必要があります。コールの応答に利用できるボイス メッセージング ポートが Connection サブスクライバ サーバにない場合、電話システムはコールを Connection パブリッシャ サーバに転送する必要があります。
- Connection サーバは、ファイアウォールによって隔離されてはいけません。
- 両方の Connection サーバで、インストールされているソフトウェアおよびエンジニアリングス ペシャルのバージョンが同一である必要があります。
- 両方の Connection サーバで、有効にされている機能と設定が同一である必要があります。
- 両方の Connection サーバは、同一の電話システムに接続する必要があります。
- Connection サーバそれぞれに 2 つの NIC がある場合、各 Connection サーバの 2 つの NIC は、1 つの IP アドレスによって耐障害性の設定にする必要があります。または、それぞれのサーバで NIC を 1 つ無効にする必要があります。ネットワーク ロード バランシングで 2 つの NIC に別々の IP アドレスを設定することは、サポートされていません。
- 以前のバージョンの Connection でサポートされていたサーバの一部では、メモリ アップグレードが必要です。ご使用のサーバでメモリ アップグレードが必要かどうかを確認するには、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_data_sheets_list.html の『Cisco Unity Connection Supported Platforms List』で該当するサーバの表を参照してください。
- 以前のバージョンの Connection でサポートされていたサーバの一部では、ハード ディスクの交換が必要です。ご使用のサーバでハードディスクの交換が必要かどうかを確認するには、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_data_sheets_list.html の『Cisco Unity Connection Supported Platforms List』で該当するサーバの表を参照してください。



(注)

Connection クラスタ機能は、Cisco Unified Communications Manager Business Edition との使用ではサポートされていません。

デジタル ネットワーキングの要件

デジタル ネットワーキングでは、最大 5 つの Cisco Unity Connection システム間で、ディレクトリ同期、コール転送、およびメッセージ ネットワーキングが可能です (Connection クラスタが設定されている場合、パブリッシャ サーバだけが、このネットワークに参加します)。

デジタル ネットワーキングの要件を次に示します。

- デジタル ネットワークに参加する各サーバは、このマニュアルに記載された該当する要件をすべて満たしている必要があります。
- デジタル ネットワークに参加する各サーバは、TCP/IP ポート 25 (SMTP) を介してデジタル ネットワーク上の他のサーバに直接にアクセスできる必要があります。または、SMTP メッセージが、SMTP スマート ホストによりサーバ間でルーティング可能であることが必要です。
- デジタル ネットワーキングと音声認識を設定していて、1 つ以上の Cisco MCS-7815 サーバまたは Cisco MCS-7825 サーバを使用している場合、2 GB の追加メモリ (合計で 4 GB) がサーバに必要となることがあります。この追加メモリが必要となるのは、連絡先、ユーザ、同報リスト、場所、個人連絡先、および、プライベート同報リストの合計が 2,000 を超える場合です (これらは、Cisco Unity Connection の管理の [ツール (Tools)] > [文法の統計 (Grammar Statistics)] ページの最初の 6 項目です)。Cisco MCS-7815 サーバと Cisco MCS-7825 サーバの詳細、および追加するメモリの仕様については、

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_data_sheets_list.html の

『Cisco Unity Connection Supported Platforms List』を参照してください。

Cisco Unity Connection のデジタル ネットワーキングの使用については、

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/7x/administration/guide/7xcucsagx.html にある『Cisco Unity Connection システムアドミニストレーションガイド Release 7.x』の「デジタル ネットワークの使用方法」の章を参照してください。



(注) デジタル ネットワーキングは、Cisco Unified Communications Manager Business Edition との使用ではサポートされていません。

VPIM ネットワーキングの要件

Cisco Unity Connection 7.x は、Voice Profile for Internet Mail (VPIM) バージョン 2 をサポートします。VPIM バージョン 2 では、他のメッセージング システムとの間でボイス メッセージとテキスト メッセージの交換が可能です。

VPIM ネットワーキングは、Connection 7.x と次のメッセージング システムとの間にメッセージ ネットワーキングを実現するのに使用できます。

- Cisco Unity Connection 7.x および 2.x
- Cisco Unified Communications Manager Business Edition 7.x および 6.x の Cisco Unity Connection
- Cisco Unity 4.0(x) 以降
- Cisco Unity Express 3.2(1) 以降
- Cisco Unified Messaging Gateway 1.0(2) 以降
- Internet RFC 3801 に規定された VPIM バージョン 2 プロトコルをサポートするサードパーティ ボイス メッセージング システム

Cisco Unity Connection での VPIM の使用については、

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/7x/administration/guide/7xcucsagx.html にある『Cisco Unity Connection システムアドミニストレーションガイド Release 7.x』の「VPIM ネットワークの使用方法」の章を参照してください。

Cisco Unity Connection 1.x からバージョン 7.x への移行の要件

移行時には、ユーザ データ、およびボイス メッセージ (オプション) のみが保持されます。システム レベルのコンフィギュレーション データ (テンプレートやサービス クラスなど) は手動で設定する必要があります。



注意

Cisco Unity Connection 7.x の要件は、Connection 1.x の要件とは異なります。Cisco TAC のサポートを受けるには、システムが Connection 7.x の要件を満たしている必要があります。

Connection バージョン 1.x から 7.x への移行の要件を次に示します。

- このマニュアルに記載されている該当のすべての要件。
- ユーザの移行ユーティリティまたはメッセージの移行ユーティリティのいずれか、あるいはそれら両方を使用してユーザ データやボイス メッセージを Connection にインポートする場合は、セキュア シェル (SSH) サーバ アプリケーションを実行しているサーバ。これらのユーティリティは、エクスポートされたユーザ データとメッセージにアクセスするのに SSH を使用します (移行テストは OpenSSH for Windows で行っています)。

ただし、Connection 1.x から 7.x への移行には、Cisco Objected Backup and Restore Application Suite (COBRAS) を使用することをお勧めします。詳細については、Cisco Unity Tools Web サイトの COBRAS ダウンロード ページ (http://www.ciscounitytools.com/App_COBRAS.htm) を参照してください。

- 以前のバージョンの Connection でサポートされていたサーバの一部では、メモリ アップグレードが必要です。ご使用のサーバでメモリ アップグレードが必要かどうかを確認するには、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_data_sheets_list.html の『Cisco Unity Connection Supported Platforms List』で該当するサーバの表を参照してください。
- メモリやプロセッサ速度などの Cisco Unity Connection 7.x 仕様をプラットフォームが満たしていることを確認します。http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_data_sheets_list.html の『Cisco Unity Connection Supported Platforms List』で該当するサーバの表を参照してください。



注意

サポートされていないプラットフォームにバージョン 7.x をインストールしようとすると、インストール プログラムの [Product Deployment Selection] ウィンドウにオプションとして Cisco Unity Connection が表示されません。

Cisco Unity 4.x 以降から Cisco Unity Connection バージョン 7.x への移行の要件



注意

Cisco Unity Connection の要件は、Cisco Unity の要件とは異なります。Cisco TAC のサポートを受けるには、システムが Connection 7.x の要件を満たしている必要があります。

Cisco Unity バージョン 4.x 以降から Connection 7.x への移行の要件を次に示します。

- このマニュアルに記載されている該当のすべての要件。
- Cisco Unity システム バージョン 4.x 以降。その他のバージョンからのアップグレードはサポートされません (使用している Cisco Unity システムがこれ以前のバージョンである場合、データをエクスポートする前に、バージョン 4.0(1) 以降にアップグレードする必要があります)。Cisco Objected Backup and Restore Application Suite (COBRAS) 移行ツールはバージョン 4.0(5) 以降を必要とするので、Cisco Unity 4.0(5) 以降にアップグレードすることをお勧めします。
- ユーザの移行ユーティリティまたはメッセージの移行ユーティリティのいずれか、あるいはそれら両方を使用してユーザデータやボイスメッセージを Connection にインポートする場合は、セキュアシェル (SSH) サーバ アプリケーションを実行しているサーバ。これらのユーティリティは、エクスポートされたユーザ データとメッセージにアクセスするのに SSH を使用します (移行テストは OpenSSH for Windows で行っています)。
ただし、Cisco Unity 4.0(5) 以降から Connection 7.x への移行には、COBRAS を使用することをお勧めします。詳細については、Cisco Unity Tools Web サイトの COBRAS ダウンロード ページ (http://www.ciscounitytools.com/App_COBRAS.htm) を参照してください。
- 以前のバージョンの Cisco Unity および Cisco Unity Connection でサポートされていたサーバの一部では、Connection 7.x の構成に応じて、メモリ アップグレードまたはハードディスクの交換のいずれか、あるいは両方が必要な場合があります。ご使用のサーバでメモリ アップグレードやハードディスクの交換が必要かどうかを確認するには、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_data_sheets_list.html の『Cisco Unity Connection Supported Platforms List』で該当するサーバの表を参照してください。
- メモリやプロセッサ速度などの Cisco Unity Connection 7.x 仕様をプラットフォームが満たしていることを確認します。http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_data_sheets_list.html の『Cisco Unity Connection Supported Platforms List』で該当するサーバの表を参照してください。



注意

サポートされていないプラットフォームにバージョン 7.x をインストールしようとすると、インストール プログラムの [Product Deployment Selection] ウィンドウにオプションとして Cisco Unity Connection が表示されません。

回線交換電話システムとの連動では、ボイス カードはサポートされていません。

Cisco Unity Connection コンポーネントで使用できる言語

ここでは、Cisco Unity Connection コンポーネントで使用できる言語を示します。

Cisco Personal Communications Assistant (PCA)

アラビア語 (サウジアラビア)、中国語 (PRC)、中国語 (台湾)、デンマーク語、オランダ語 (オランダ)、英語 (アメリカ合衆国)、フランス語 (カナダ)、フランス語 (フランス)、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語 (ブラジル)、ロシア語、スペイン語 (ラテンアメリカ)、スペイン語 (スペイン)、スウェーデン語

Cisco Personal Communications Assistant (PCA) ヘルプ

アラビア語 (サウジアラビア)、中国語 (PRC)、中国語 (台湾)、デンマーク語、オランダ語 (オランダ)、英語 (アメリカ合衆国)、フランス語 (カナダ)、フランス語 (フランス)、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語 (ブラジル)、ロシア語、スペイン語 (ラテンアメリカ)、スペイン語 (スペイン)、スウェーデン語

Cisco Unity Connection の管理

英語 (アメリカ合衆国)、日本語

Cisco Unity Connection の管理 ヘルプ

英語 (アメリカ合衆国)

Cisco Unity Connection ViewMail for Microsoft Outlook

中国語 (PRC)、中国語 (台湾)、デンマーク語、オランダ語 (オランダ)、英語 (アメリカ合衆国)、フランス語 (カナダ)、フランス語 (フランス)、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語 (ブラジル)、ロシア語、スペイン語 (ラテンアメリカ)、スペイン語 (スペイン)、スウェーデン語

Cisco Unity Connection ViewMail for Microsoft Outlook ヘルプ

中国語 (PRC)、中国語 (台湾)、デンマーク語、オランダ語 (オランダ)、英語 (アメリカ合衆国)、フランス語 (カナダ)、フランス語 (フランス)、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語 (ブラジル)、ロシア語、スペイン語 (ラテンアメリカ)、スペイン語 (スペイン)、スウェーデン語

システム プロンプト

アラビア語 (サウジアラビア)、中国語 (PRC)、中国語 (台湾)、デンマーク語、オランダ語 (オランダ)、英語 (オーストラリア)、英語 (イギリス)、英語 (アメリカ合衆国)、英語 TTY/TDD (アメリカ合衆国)、フランス語 (カナダ)、フランス語 (フランス)、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語 (ブラジル)、ロシア語、スペイン語 (ラテンアメリカ)、スペイン語 (スペイン)、スウェーデン語

テキスト/スピーチ エンジン

中国語 (PRC)、中国語 (台湾)、デンマーク語、オランダ語 (オランダ)、英語 (オーストラリア)、英語 (アメリカ合衆国)、英語 (イギリス)、フランス語 (カナダ)、フランス語 (フランス)、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語 (ブラジル)、ロシア語、スペイン語 (ラテンアメリカ)、スペイン語 (スペイン)、スウェーデン語

音声認識エンジン

英語（アメリカ合衆国）

管理者またはインストール担当者用の製品マニュアル

英語（アメリカ合衆国）、日本語

エンド ユーザ用の製品マニュアル

中国語（PRC）、中国語（台湾）、デンマーク語、オランダ語（オランダ）、英語（アメリカ合衆国）、フランス語（フランス）、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語（ブラジル）、ロシア語、スペイン語（ラテンアメリカ）、スペイン語（スペイン）、スウェーデン語

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/tsd_products_support_translated_end_user_guides_list.html

では、5 つの言語の Cisco Unity Connection のユーザ ガイドが参照できます。

Cisco Unity Connection でサポートされる言語の英字コードと数字コード

Bulk Administration Tool と CSV ファイルを使ってユーザを作成またはアップデートする場合は、次の表の数字コードを使用します。各ユーザの [Language] カラムに、該当する 4 桁または 5 桁の数字コードを入力します。詳細については、

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/7x/user_mac/guide/7xcucmacx.html にある『Cisco Unity Connection ユーザの移動、追加、変更ガイド Release 7.x』の付録「Cisco Unity Connection Bulk Administration Tool の使用」を参照してください。

言語に関連するログ エントリとエラー コードを解釈するのに、英字コードを使用します。

表 5 Cisco Unity Connection でサポートされている言語のコード

言語	数字コード	英字コード
アラビア語 (サウジアラビア)	1025	ARA
中国語 (PRC)	2052	CHS
中国語 (台湾)	1028	CHT
デンマーク語	1030	DAN
オランダ語 (オランダ)	1043	NLD
英語 (オーストラリア)	3081	ENA
英語 (イギリス)	2057	ENG
英語 (アメリカ合衆国)	1033	ENU
英語 TTY/TDD (アメリカ合衆国)	33801	ENX
フランス語 (カナダ)	3084	FRC
フランス語 (フランス)	1036	FRA
ドイツ語 (ドイツ)	1031	DEU
イタリア語 (イタリア)	1040	ITA
日本語	1041	JPN
韓国語	1042	KOR
ポルトガル語 (ブラジル)	1046	PTB
ロシア語	1049	RUS
スペイン語 (ラテン アメリカ)	9226	ESO
スペイン語 (スペイン)	1034	ESP
スウェーデン語	1053	SVE



(注)

このマニュアルには、日本語化されたマニュアル名と英語版 URL が併記された箇所があります。日本語版マニュアルを参照する場合は、次の URL にアクセスしてください。

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/index_uc_cuc.shtml

CCDE, CCENT, Cisco Eos, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco StadiumVision, Cisco TelePresence, the Cisco logo, DCE, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn and Cisco Store are service marks; and Access Registrar, Aironet, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, IronPort, the IronPort logo, LightStream, Linksys, MediaTone, MeetingPlace, MeetingPlace Chime Sound, MGX, Networkers, Networking Academy, Network Registrar, PCNow, PIX, PowerPanels, ProConnect, ScriptShare, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, TransPath, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0807R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Copyright © 2008, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2008, シスコシステムズ合同会社 .
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ合同会社

〒 107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先 : シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS 含む)

電話受付時間 : 平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>